

## そこにいないひとに会うこと 2

文／根本みを（集団たま。代表）

青森県美『あかし展』にて展示されたセノグラフィーは『直下型演劇』で利用された、階層構造をとった立体の舞台装置だった。観客は二階に上り、透明のアクリル板を通して下を見き込む。その上演に足を運んだ人はみな「足元をのぞき込む」という行為を促される。それはとりもなおさず、私達の足元では、常に何かが起こっている、ということを観客にさまざまと見せつける。劇場で体験する非日常。けれどそれはいつも日常と地続きにある。私達はいつも、見ているつもりで見ていないし、聞いているつもりで何も聞いていない。まさにいま、目前に起っている出来事でも。

トーケイベントの際、モレキュラーシアターのメンバーは、豊島重之氏のこと、目の前にいる相手のことを探す。ほんとうに「よく聞き」「よく見てる」人だと語っていた。発表会での子どもたちの髪飾り一つ、あっちのほうがいいんじゃないか、とそんな細部に気がつく。そのくらい相手のことをよく見ている、と。

そんな氏の作品はいつも、私達の背中に手を添えるようにして、もう少しそこに何か見えないか、そこに何があるのではないか、と、私達の視線を、思考を、行為を促してくれる。

数々の演目を見た後に、提示されるその風景は印象的で、その子がただ「そこにいる」と、日常の中では見落としてしまいそうなこと、それを現前に差し出してもらつた気がした。『この異装の弦月の下』での紅い衣装。かつての上演衣装をリメイクし纏い踊る子どもたちの姿。過去の上演テキストから構成された作品『写真展会場2』。それを見ながら、見たことのないその過去の作品を想起する。そこにはないはずのもの。かつての上演の残滓、残つていくテキストたち。図らずとも受け継がれていく作品のフラグメントは、また新たな作品となつて観客にくさんの思考を誘発していく。

——舞台の上に立つ子どもたちの眼差しの向こうにあるものはなんだろう、と思う。また、その足元にあるものは。

足元では常に何かが起こっている。それは災いかもしれないし、幸いかもしれない。



『写真展会場2』(八戸市公会堂・2022.10.22)

撮影：佐々木邦吉

第66回ダンスバレエリセエンヌ』。その冒頭は日常のレッスン風景を切り取ったシーン。何気ない、ありふれた一瞬。それまで

●筆者近況  
2021年、豊島重之評論集『一日散』の編集協力。常日頃は学術系の出版社に勤務。シアターカンパニー「集団たま。」にて代表を務める。次回公演は2023年の2月26日、徳島県徳島市にて予定。東京都在住。



### 第10回 うみねこ演劇塾発表会

抱腹絶倒！ シニア塾の南部弁のお芝居と、ジュニア塾の元気なミュージカルをお楽しみください。【日時】1月7日(土)開演13:30 【場所】八戸市公会堂文化ホール 【料金】子ども・大人共通前売600円(当日700円)、未就学児無料 【問合せ】八戸市公会堂文化ホール ☎0178-45-1511

### 文化庁 伝統文化親子教室 花柳流 葉昌栄会 日本舞踊発表会

古典舞踊からお楽しみ舞踊まで、一生懸命お稽古を重ねてきました。ぜひご覧ください。【日時】1月8日(日)開場12:30、開演13:00、終演16:30 【場所】はっちひろば 【料金】500円 【問合せ】花柳流葉昌栄会 ☎0178-45-0678

### 劇空間 スペースベン ～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、料金は一般前売500円 大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増し)  
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい  
八戸市柏崎1-11-8 TEL:080-6025-0990 FAX:050-3588-8350 E-MAIL:owner@spaceben.com URL:https://spaceben.com/



### FANS

FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP  
FANS予定▶第1504～1508回

かたり場など随時開催しています。  
詳しくはホームページをご覧ください。

WHAT'S  
“FANS”?

多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

一般前売500円／大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)